

第12回eモニターアンケート 「市政情報の提供について」

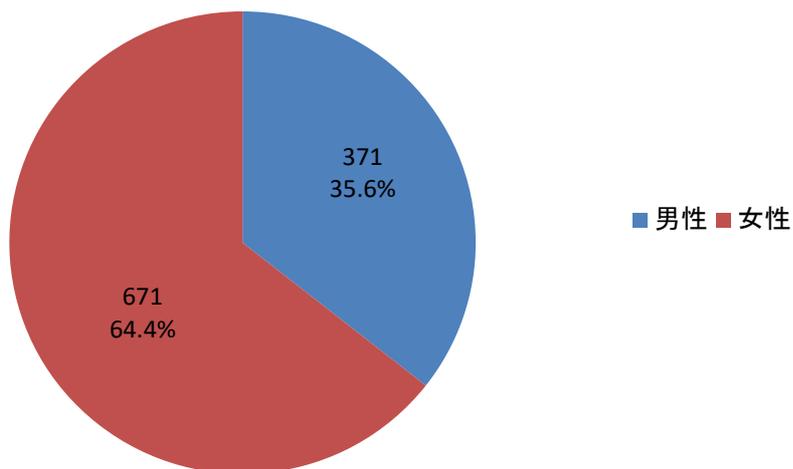
実施期間
回答数

令和4年1月25日 ~
1042 人

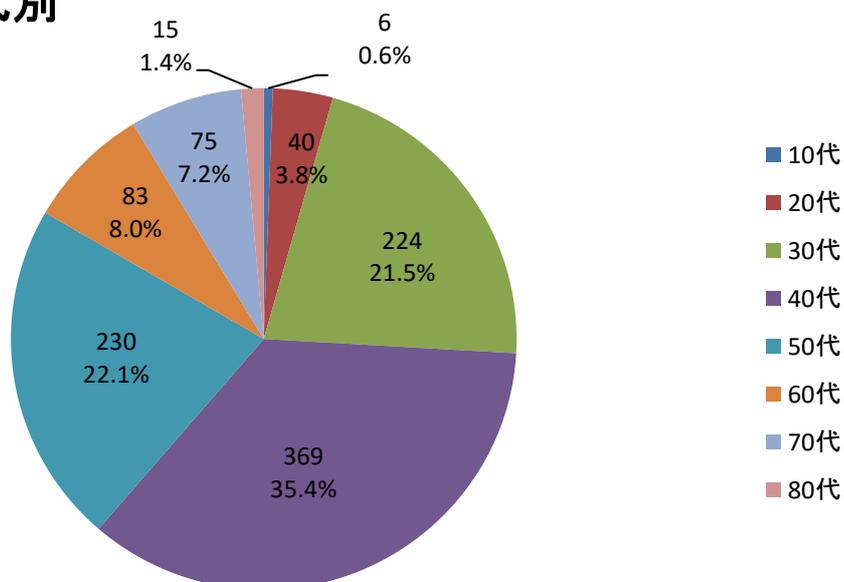
令和4年2月1日

※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人

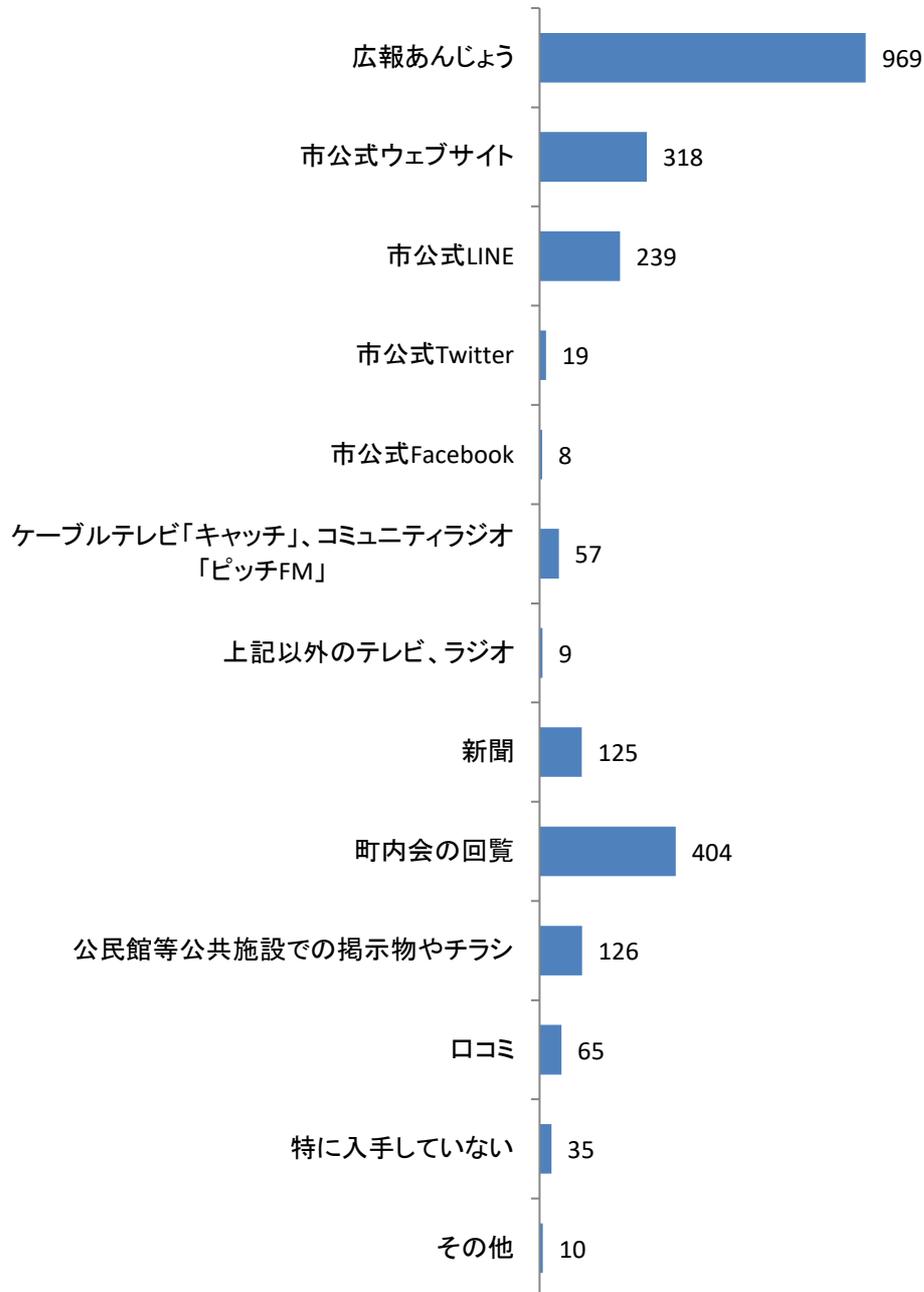
性別



世代別



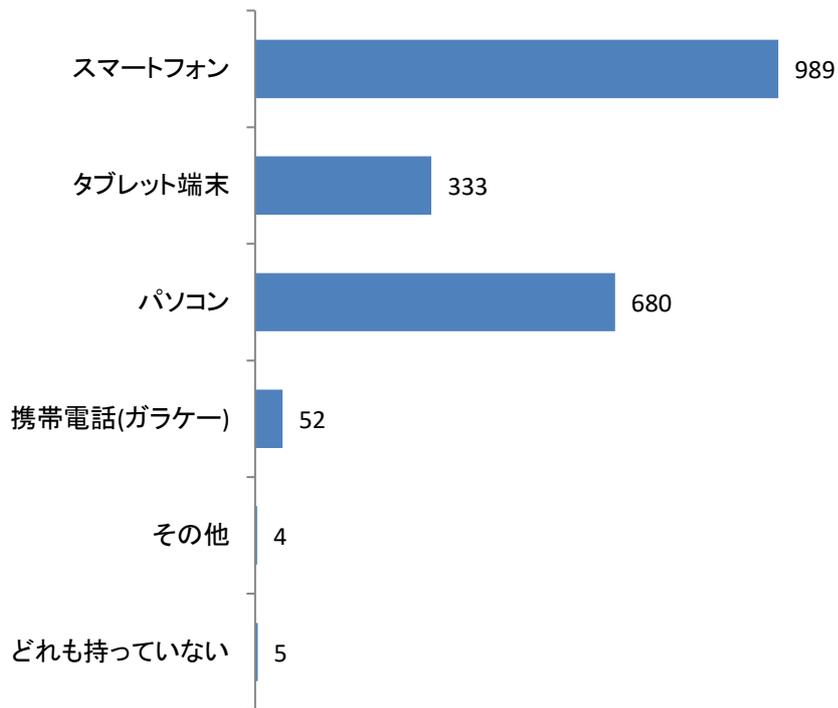
問1: 安城市の情報の入手先(複数回答)



【主なその他意見】

- ・市外在住者のため、職場の回覧
- ・まいふれの行政情報
- ・チラシやマンション掲示板の貼り紙
- ・市長のFacebook
- ・学校やこども園での配布物
- ・ヤフーニュース
- ・市会議員が発行する資料、パンフレット類
- ・防災メール等

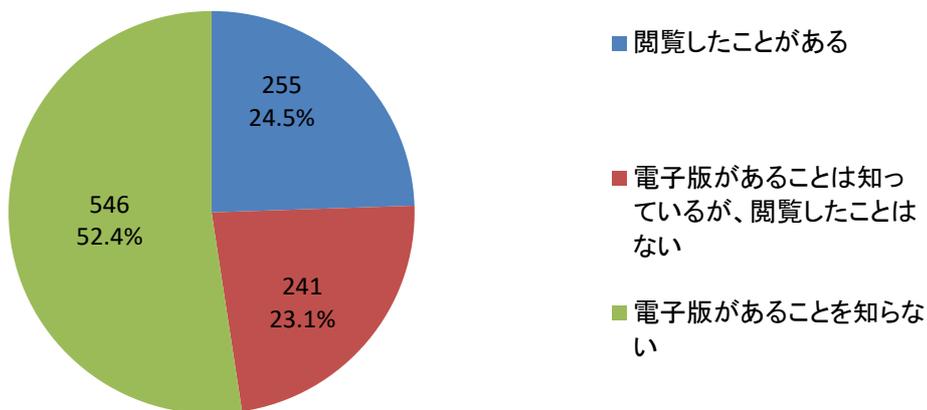
問2: 所有している情報通信機器(複数回答)



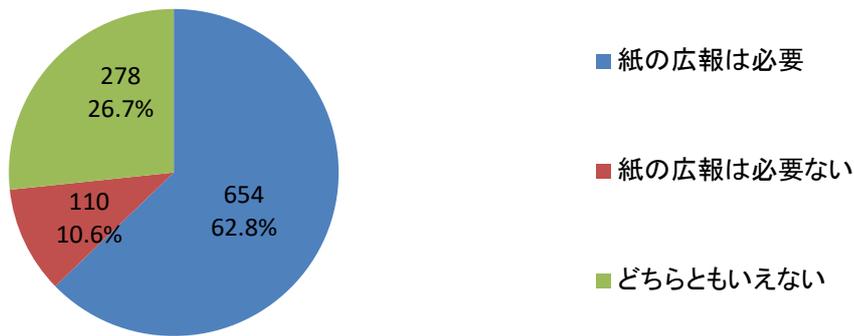
【主なその他意見】

- ・娘のスマートフォン
- ・防災ラジオ
- ・スマートウォッチ、カーオーディオ
- ・ゲーム機

問3: 広報あんじょうの電子版について



問4: 電子機器で市の広報が閲覧できる場合



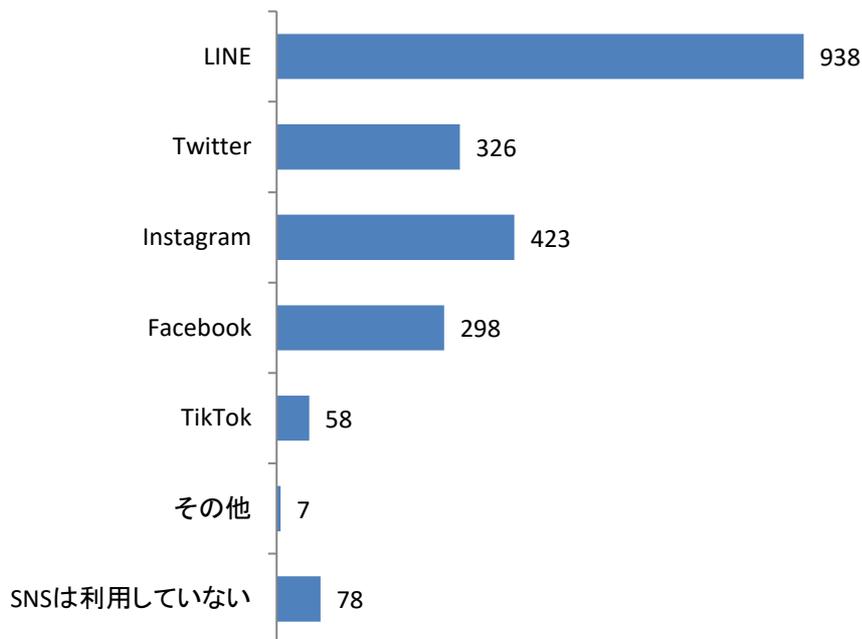
【必要な理由】

- ・Web閲覧は見に行かないと見ないが、紙面で貰えると必ず見るから
- ・PCやスマホを使えない家庭もある
- ・興味のない分野も目に入って来るから
- ・いつでも、停電しても、見れたほうが良い
- ・すぐに見るところに置いておける
- ・デンパークの特別券がついてるから
- ・紙のほうが見やすい
- ・ひと目で分かりやすいから
- ・ゆっくり見れる
- ・印をつけたいから
- ・家族で共有できる為
- ・記念に取っておきたい

【必要ない理由】

- ・ウェブで見れるから
- ・経費削減
- ・紙の使用量が削減できるため
- ・紙は検索性が悪い、保管や管理が不便
- ・情報の鮮度が悪い

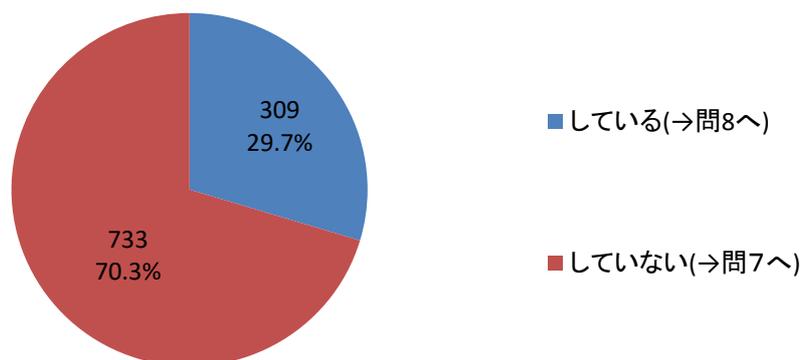
問5: 現在利用しているSNS(複数回答)



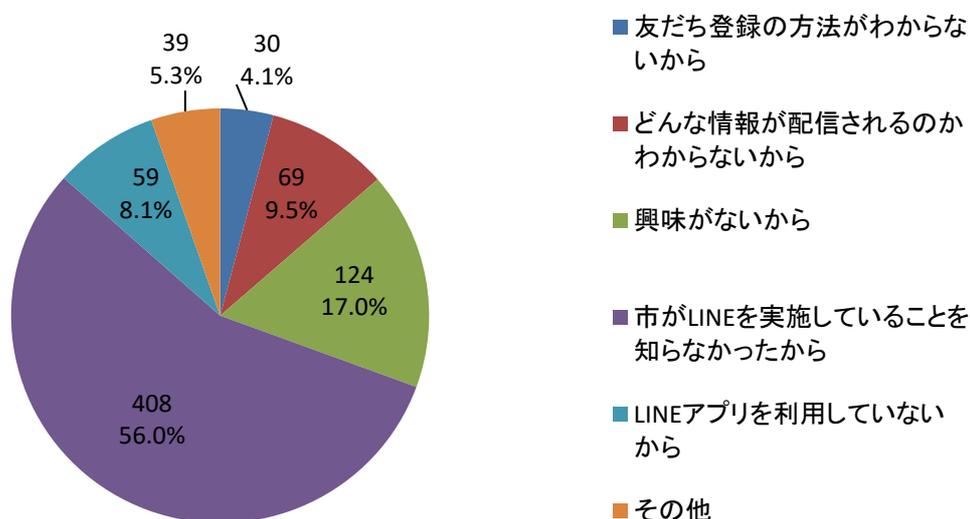
【主なその他意見】

- ・mixi
- ・メール
- ・WeChat
- ・YouTube

問6:市公式LINEの友だち登録



問7:市公式LINEの友だち登録をしていない理由

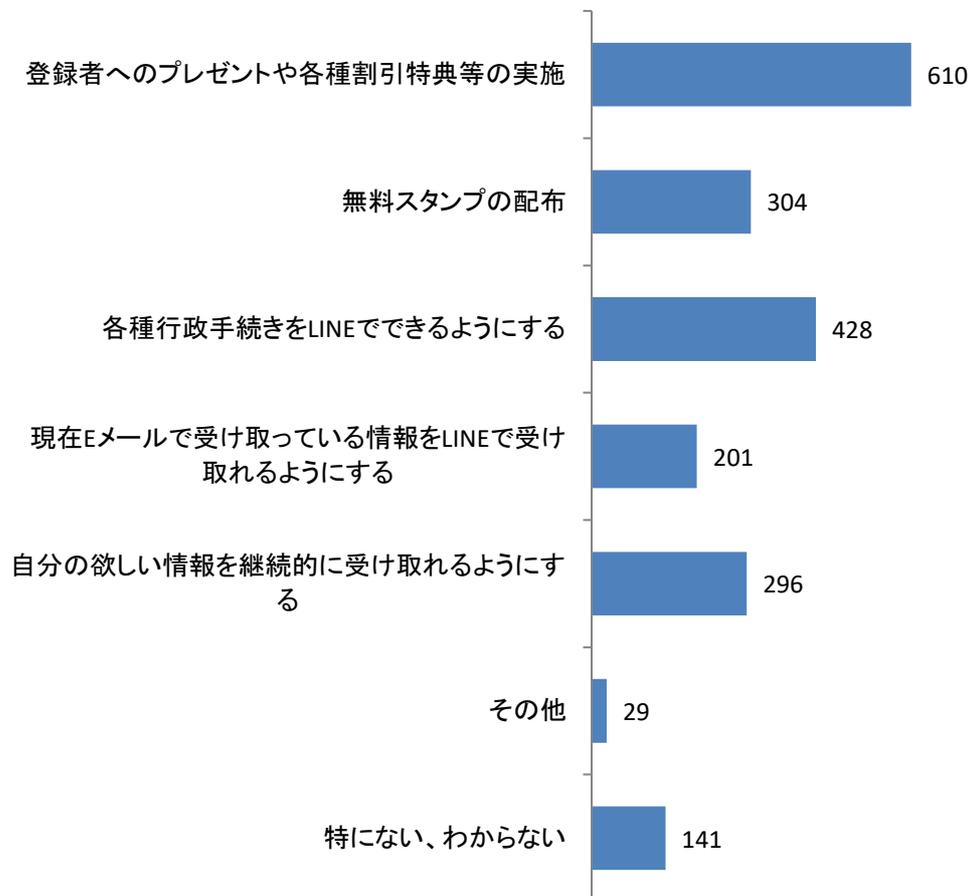


※問6で「していない」と回答した人

【主なその他意見】

- ・広報やHPで得られる情報が十分だから。必要な時はネット検索をする
- ・セキュリティに不安があるから
- ・LINE友だちを増やしたくないから
- ・登録しなくても不便がない為
- ・必要のない情報まで入ってきそうだから
- ・スマホを利用していないから
- ・毎日コロナの陽性者数をLINEで送られてきて気が滅入ってきた為、友だち登録を解除した
- ・以前登録していたがあまり必要でなかったのをやめました
- ・ラインアプリそのものがわからないから
- ・内容が薄いため
- ・提案されていないので検討していない

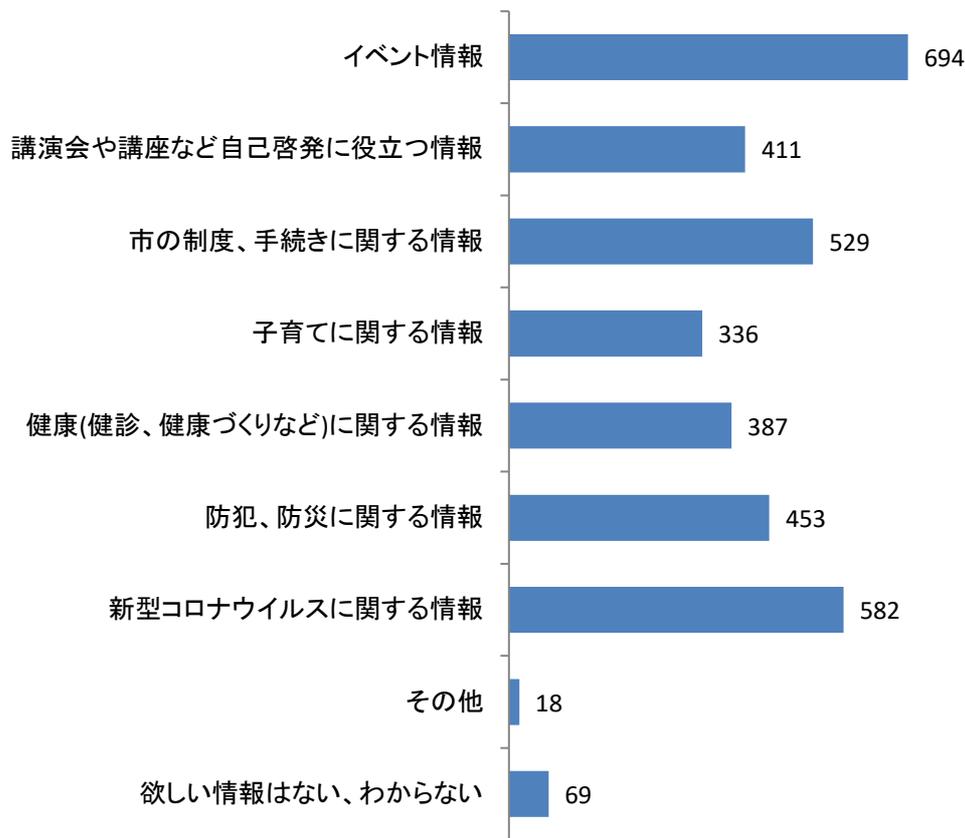
問8:市公式LINEに友だち登録したくなると思う取り組み(複数回答)



【主なその他意見】

- ・情報発信のスピードアップ
- ・市民への情報媒体にLINEを使う必要性を浸透させる
- ・安城市内のコロナ感染人数の把握
- ・端末の支給など広報の配布と同じように
- ・質問に即回答してくれる
- ・税金や社会保障費の減免
- ・しっかりとした情報管理が行われているという保証が必要
- ・広報がLINEのみになる
- ・市公式LINEを広く知ってもらうことが先
- ・子どもの予防接種の予定など
- ・キーボードのスタンプ配付
- ・LINEともだち限定のイベント先行受付など

問9: 市公式LINEで得られると良い情報(複数回答)



【主なその他意見】

- ・学級閉鎖情報
- ・SNSを見ている時間が無駄。欲しい情報は取りに行く
- ・歴博の収蔵物がメディア(TVで放送される)で紹介されるなら、是非放送日などお知らせして欲しい
- ・緊急性を要する情報はsnsでしか得られない。
- ・コロナやお祭り等、皆の生活への影響が大きなもの
- ・情報が多すぎると面倒で見なくなるので、スマホに届く内容は、緊急の内容とか限定的なもので十分
- ・市役所混雑情報、マイナンバーや届出など
- ・補助金などに関する情報
- ・SNSで発信する場合、個人個人が受け取る情報の種類をカスタマイズできることが必要
- ・電話をしにくい場合の問い合わせに端的でいいからラインで応えてもらえるような、問い合わせ機能
- ・納税などの期限のあるものの情報
- ・啓蒙、啓発に関するもの
- ・安城市の歴史文化紹介
- ・求人情報

問10：市政情報の提供について、ご意見等があればご記入ください。

SNSを市が使用することは構わないですが、個人情報のセキュリティは守ってください。
安城市のホームページを更に充実してほしい。ホームページとLINE・Twitter・Facebook等SNSの情報、データの切り分けはどうなっているのでしょうか？あまり多くの情報提供手段を用いると、情報の切り分けや入力の手荷も多くなり大変かと思えます。
広報誌の内容が多過ぎて必要な情報が分かりにくい。
スマホに情報が定期的に来るのは私としては好ましくない。調べたい情報は自分で広報、HP等見て知りたい。
情報伝達は多種類あったほうが便利と思えますし、今しばらくは紙情報も必要と考えます
知立市を見本にして欲しい。私は安城市民だが、知立市のLINE友達に登録して毎日コロナ感染者の人数を確認したりイベントの情報を得たりしている。安城市のLINE登録を知らないし、お得なサービスが無ければ、わざわざ登録しない。SNSを活用するなら、登録数を増やして愛される安城市を作りたい。
LINEに登録しています。以前は長い文でコロナの感染者数を発表していましたが、文字が多くて内容が頭に入ってきませんでした。現在は表で発表してとても見やすくなりました。誰が見ても見やすい、分かりやすい事が重要だと思います。
市のホームページもごちゃごちゃして見にくい。必要な情報に辿り着かないことがある。古い情報がスクロールの上の方にある。
市役所が何をやっているのか、情報発信が少な過ぎ！公共工事なら、今の進捗状況とか「広報あんじょう」や市のHPで紹介するとかあっていいと思う。今、町内で橋の架け替え工事が行われているが年度を跨ぐ長期間の工事となっている。どうしてこういう長期間の工事になるのか、市内の橋の老朽化問題など、積極的にPRしていくべきでは？市の施設がTVで紹介されることがあれば、Twitterなどで積極的にお知らせを発信していくべきだと思う。安城市の人はそういうアクションが下手なのか苦手なのか、残念！歴博とか文山苑とかデンパークとか、折角いろいろ施設はあるのだから、是非「こんなイイモノあるんだよ」とアピールしてください！
以前は紙の広報誌をファイルしていたが、結局見返すことはない。最近は一通り目を通したら破棄している。必要な情報はスマホで検索している。しかし、紙の広報誌は必要な方々もいらっしやると思えます。
個人の意見としては、必要があれば、なんらかの手段を使って自分で調べます。そうでない場合の情報提供は、紙面での情報提供でないと、わざわざ得ることはないと思えます。
LINE登録しているが、情報が分割、件数が多く、着信音もうるさい。もっと情報をまとめるなど、閲覧のしやすさも検討して欲しい。
LINEは普及していますが…。行政手続きができるのは便利だけれど、あまり個人情報を出すのは情報管理など不安に感じます。一般的な情報提供に留めていただきたいです。設定方法を知らない、いつの間にか情報提供されている、というような話で、LINEから離れてきている人も一部ですがあるようです。活躍しすぎて、なくてはならないものになってしまうのも怖い気がします。
複数の周知方法があった方がよい。そして、気になった情報を電子機器で調べることが出来るのが良い。
わたしにとってもそうですが、特に親世代は紙の広報の方が読みやすいと思えます。ただ、イベント情報はSNSで見ることができると、出先で見ることができて便利だと思います。簡単な手続きがLINEなど家でできると、子どもがいる人や仕事が平日に休めない人など市役所へ足を運びにくい人にとっては助かります。
情報を得る上で、紙の広報あんじょうはある程度必要だと思います。高齢の方はSNSをあまり利用しない方も多し、広報誌が届くと目を通す方も多しだと思います。しかし、自分が知りたい・欲しい情報はSNSを利用したり聞いたりするなど、自分から動いて情報を得ようとすると思うので、紙の広報は簡略化してもいいのかなと思います。
情報発信を電子化してペーパーレスにすれば経費削減や効率上昇になると思うが、全ての方が電子機器を使いこなせるわけではないので無理である。多少の無駄は仕方ないので、紙媒体の広報誌も必要である。安城市内の全ての人に必要な情報が伝わるようにすべきである。
WEBなどの媒体がイマイチ見づらいように感じる。質問等、チャットボット機能があれば不明点が気軽に聞けて良いと思う。
電子機器での閲覧は便利だと思いますが、高齢者など使えない方もいるので、広報誌は誰でも読めるように紙が良いと思えます。
乳幼児健診のあんぴよの登録をしなければいけない。あちこちいろいろなところから別で情報を受け取るのは不便。安城市としてまとめて発信してもらえると登録したいと思える。
LINEやインスタ他SNSを利用していないので、LINE等で応募等はやめて欲しい
電子も調べたい時にパッと調べられて便利ですが、なんだかんだ紙の広報紙を見てしまいますし重宝しています。
市の公式SNSとしてLINEを使うのはやめてほしい。
経費の問題もあるかとは思いますが、紙媒体は無くさない方がいいと思えます。また、公式LINE登録で、市の施設の割引が受けられる等の施策があると嬉しいです。

LINEで情報提供されているのは知りませんでした。早速友だち登録したいと思います。そこから他のSNSに飛べると便利だと思います。既にやっていたらすみません。
広報あんじょうは政治、イベントなど幅広い範囲を網羅しており重宝している。電子版と異なり気軽に見られるのがよい。
LINEは広く使用されているツールではあるが、一民間企業である。そのため、継続的なサービスの約束および機密情報の管理という観点から、一般的な情報の提供の範疇を超えた市政の手続きなどは絶対にLINEを通しては行っていただきたくない。
大抵この手のSNSは使いづらい。やるなら一方通行ではなく市民も意見が送れる双方向で運用して欲しい
情報を貰うだけでなく、通学路や公園などの公共施設に防犯カメラを設置して欲しいなどの住民の声を日頃のラインのように行政に言いやすい環境を作って欲しい
紙媒体の広報はしっかり見えています。カラーで見やすく、年に2回のデンパークの入場券は必ず使用しています。子供が小さいので、市のイベントはかなり気になります。
SNSの利用は、知らない・分からない・興味がない人には無いも同然だと言う事を忘れないで欲しい。面倒でもそういう世代が生きているうちは紙媒体を継続して欲しいです。
広報配布の有料化を将来的に検討しては?現在はまだ紙の配布が必要な人も大勢いると思うが、数年先にはペーパーレス化が更に進んだ世の中になるはずなので、電子配布の抵抗感が軽減してくるのでは?その前段で、紙の広報が必要な人だけ配布する事をしてもらいたいと思う。準備が大変でしょうか。
雑誌も電子化されている世の中、全戸配布は必要ないと思う。回覧板も電子化すればいいのになって思うくらいです。これこそ、いずれそうなるくらい先の話でしょうけど。
私(75歳)のまわりには情報機器に疎い高齢の人が多くいます。社会全体でみても高齢者人口がどんどん増えています。これらの人に情報機器を使う気にさせる、使えるようにさせる、使うと楽になると思わせる施策も並行で実施して、市政情報の提供方法の改善を進めてほしいと思います。
提供だけでなく意見の受け皿としての機能も欲しい。
個人情報を含む手続などにLINEを利用するつもりはありません。
SNSで市政情報が見れるのはいいと思います。情報の掲示は、今の広報あんじょうのように、一目で全体像を確認できるといいかなと思います。リンクが多いと、結局面倒になって情報が行き届かない気がします。
年齢問わず誰でも利用しやすい情報サービスがいい。電子機器の他にも。公民館によってはイベント等の告知が全く張り出されていない所もあり、差を感じる。複数の公民館を利用しない人はそれだけでも情報を得られる機会が減る気がする。地域に関係なく差がないサービスであって欲しい。
紙媒体も意外と見やすい、使いやすくて、なかなか完全にデジタルに移行しかねているところがあります。情報伝達の抜け漏れがなければどちらの方法でもよいと思います。
市の広報誌は必ず読んでいます。色々な情報が載っていて、安城市を知るうえでとてもいい物だと思っています。電子機器での閲覧は大変便利だと思いますが、自分から情報を求めて見に行くかは疑問です。LINEを活用した配信は、通知が来るので見るものの、紙面に比べて全体の情報把握がしづらい気がします。
全ての情報をSNSやインターネットで提供するのみになることはやめて欲しい。
広報は楽しみにいつも拝読しています。ただ毎年年末に1年分を綴じる表紙の全戸配布は一切不要だと思います。ゴミとなるだけ。今後全戸配布は撤廃して必要な方の為に市役所、公民館などで配布形式にすれば経費削減できると感じます。どれだけの市民の方が1年分を綴じて保管しているかアンケート調査するのも必要だと思います。
双方向の情報のやりとりがないのであれば、市公式のSNSは不要であると思います。SNSには流行り廃りがあるので、流行らなくなったときに、やめ時がわからなくなり、無駄な管理コストが生じる恐れがあります。やめ時をしっかりと決めて利用する必要があると思います。
市民、利用者から見に行く方向ではダメ。役所の方からどんどん自発的に発信するべき。情報の取捨選択は利用者が判断するもの。
これだけ情報過多の世の中で、市政情報だけ興味を持つことは難しいです。ただ行政の手続きはやらないといけないものもあるため、情報の選別がとても難しいです。今回の趣旨が電子申請の推進ということでしたら、今まで紙で提出していたものや対面でしかできない手続きをインターネットでできるようにすることで、少しは改善できると思います。
今は専らコロナ感染者数を毎回見るのに活用しています。イベントなどの情報もLINEで送られてくれるといいなと思います。私は紙の広報誌じゃなくてもいいですが、ご年配の方はどうなんでしょうか?それぞれ家庭で選ぶのは大変なんじゃないでしょうか?
LINEやtwitterは市が情報発信しているので、発信された内容を確認して有用なものは利用するので市民サービスとしては良いと思う。だが、必要と思う情報を探すと容易に検索できない。ホームページの使いやすさというか見やすさの改善を望みます。

<p>LINEでの広報のお知らせについて、以前より複数の画像が一度に送られてきて不要に感じています。もう少しまとまった見やすい形に改良して欲しいです。メニューがあるのでそこからの誘導で、その後の分岐ではダメなんでしょうか？SNSも利用していますが、なんだかんだ紙の広報は見やすく好きです。月ごとになったのは経費の面もあるかとは思いますが、即時性には欠けると思うので、誰もが即時情報を受け取れるようになると良いと感じます。</p>
<p>紙ベースの広報があるから、何か興味あるものがあればwebで確認したりするので紙ベースの広報がなければ、自分からはwebで広報や市の情報を見ないと思う</p>
<p>ごみカレンダーのメールもLINEで配信してもらえると嬉しいです</p>
<p>環境のために、電子化を推進してください</p>
<p>広報あんじょうの電子版は、冊子を持ち歩かなくてもどこでもみられるところがよい。バックナンバーも探しやすい。</p>
<p>広報あんじょうは、全軒ポスティングをやめて、選択にしたらいいと思う。若い世代は見ないし、必要な情報はネットで検索するのが日常になっていて、広報で情報を探したりしないです。ラインとかに変更したら、何か特典があると、変更する人も多いと思う。</p>
<p>安城市も昨今いろいろDX化が進んでいると感じますが、周知できてないため、市民はうまく活用できてない気がします。例えば「安城市役所市民課 受付・混雑状況/呼出状況」はとても便利な情報ですが、このページに辿り着くのにもものすごく手間がかかります。改善してほしいです。</p>
<p>公民館の図書関連の手続きをLINEでしたい。</p>
<p>SNSを利用できない高齢者の方もたくさんいるのでその方達にきめ細かい情報提供が必要かと思えます。そういう方こそ自分からは情報を取りに行くことができないので提供してあげる必要があるのではないのでしょうか。SNSを利用できる方は費用削減なども期待できるので大いに利用すれば良いと思えます。利用する、しないの振り分けは容易なことではないと思えますが。</p>
<p>広報を電子版にして経費削減になるなら紙の冊子はなくしていけばよい。回覧板もだんだん不要になると思う。</p>
<p>公式LINEがある事を知らなかった。企業や学校と連動して運用してほしい</p>
<p>必要な情報は人それぞれなので、定期的な周知方法として、広報や回覧板は有効だと思う。自分が知りたければ、調べるが、必要ない事や制度を知らなければ調べようとも思わない。</p>
<p>今の時代になかなか難しいのでついていけません、仕方のないことですが、それでも勉強しながら一生懸命ついていこうと思う。</p>
<p>必要とする情報をすぐに見つける事ができるようになると良いです。関心のない分野の情報は受けとらないでも良いようにできれば、SNSの登録もしたいと思えます。</p>
<p>LINEは特に普及が必要だとは思いません。広報あんじょうがしっかりと各家庭に浸透していればいいので、媒体を増やして情報が分散、複数化される方が必要な情報にアクセスしづらくなるような気がします。</p>
<p>情報を配信するだけだと、自分からLINE登録などわざわざ手続きする人は多くはないと思えます。何かプラスアルファで登録者特典があれば、登録者は増えると思えます。登録者を増やすことの効果と、特典にかかる費用、紙媒体など削減できる費用を考慮して検討する必要があると思えます。</p>
<p>LINEの無料スタンプでは、スタンプを取ってもすぐブロックしてしまう人が多いと思うので、意味がないと思う。継続的に登録しておくには、割引等得する情報があるといいかなと思えます。</p>
<p>LINEというアプリケーションには不信感があるので公的機関がそれを用いることに不安を感じる。</p>
<p>LINEは欲しいジャンルを選択することもできるし、タイムリーに情報が配信されるのでとても便利です。お知らせの先頭にジャンル分けの記載があると、もっとわかりやすくなるかなと思えます。紙の広報は、電子機器よりも見やすいことと、子供がいても(ながらスマホにならず)パラパラと一緒にめくれること、メモしたいものをそのまま切り取って冷蔵庫に貼ったりできること、簡単に書き込みできること等から、活用していますし、高齢者にも優しいと思えます。紙での配布かネットでの閲覧か、世帯ごとに希望に応じて選択できるようにするのも良いかと思えます。</p>
<p>自分が欲しい情報になかなかとり着けない。必要があれば、担当部局に直接お尋ねする。</p>
<p>危機管理課のインスタだけフォローしていますが、いまいち役に立たない情報ばかり。そんな情報が欲しいわけじゃなかったのに。コロナだから、フォローしたのですが…。もっと危機管理ツールとして使えると思った。</p>
<p>電子機器は便利だと思います。使いこなせればの話ですが。市役所、公民館、福祉センター等、紙による情報源があふれています。そして、期限が過ぎれば廃棄されます。勿体ないな・・・と感じることが多々あります。でも、無くしてしまうことは出来ないと思えます。電子機器による情報提供がもう少し、分かり易く分類され、簡潔になると良いのですが。</p>
<p>まずは、市役所のホームページから見直すべきでは？下手にSNSを始めるのではなく、人が見たくなる観点でサイトづくりを行い、スマートフォン最適化で十分にアクセス数が伸びると思えます。</p>
<p>欲しい情報が受けられるように選択できる方式を！必要のない情報が過度に送信されると受信者がマンネリ化する。</p>

<p>市のLINEと、明日は何のごみを出す日かというお知らせメールはとても便利で充実しています。ありがとうございます。これからも期待しています。</p>
<p>定期的に届く紙の広報になじみがある世代なので、紙の存続を願いたいですが、今後、紙の節約や経費節減の意味でも電子媒体を使うことに慣れていかなければ…という気持ちもある。やはり、安城市の情報はもれなく知りたいと思うし、情報弱者にならない努力が市民側にも必要な。</p>
<p>ツイッターやフェイスブックなど、個人情報管理が超甘いシステムを使用している限り、そのような危ないものに触れることは一生無い。安城市のウェブサイトで十分だが、ウェブサイトですら乗っ取られる可能性もある。最悪の状況を考えれば、面倒でも紙媒体の配布は必要不可欠である。手元にあると、意外に見てしまうものである。</p>
<p>安城市の広報情報を一元化すべきである。そして、市民が一元情報を分かり易いように伝達してほしい。</p>
<p>こちらから閲覧しに行くのではなく、自分で選んだ情報のプッシュ(配信)を増やしてほしい。</p>
<p>LINEの活用に期待します。保険会社によってはLINEで契約は勿論、LINEで保険金請求まで出来るようになっていきます。本人確認の兼ね合いで書類の受取は窓口必須だとしても、申請だけでもLINEでできるようになると便利です。</p>
<p>回覧板で情報は足りている。欲しい情報はいつでも手に入る。SNSを登録してまで欲しくはない。HP内で情報を探すときは分かりにくく、見つけるのが大変。SNSのほうが分かりやすさは有るのかも。AIを使った質問のやり取りができるようになると良い。</p>
<p>紙媒体を廃止し市の公式ウェブサイトにて一元化。信頼性の保証されないSNS等に資源投下をしない。デジタル難民の救済には市内各所にデジタルサイネージを提供。その場合コンテンツはウェブサイトの流用で充分。</p>
<p>市政情報を電子機器のみ閲覧可能とすると、電子機器に慣れてない方にとって良くないと思う。紙媒体を希望する世帯に対して配布した方が良いと思います。また、町内会の回覧板もある程度、電子化した方が「もう少し早く回覧板が回ってれば、よかったのに。」が減少するでしょう。また、防災や災害による被害情報や道路などの公共物破損状況の収集も、GPSの位置情報を付属した写真付きで投稿するという形でLINEから収集できれば、情報収集作業や事務作業もある程度、煩雑さが減るかと思えます。ただし、電気の供給や通信ネットワークが断絶した場合の既存の手続き方法は、縮小しても残しておいた方がいいかと考えます。</p>
<p>紙媒体での市の広報がポストに届いていると一通り目を通して見ます。電子版にすることはとてもいいことだと思うのですが、定期的に「安城市の広報を読もう」と思って電子版を見に行かないような気がします。広報ではコロナ関連の情報や市役所の手続きの情報など重要な情報がたくさん載っているので、今まで通りポストに届く紙媒体の広報紙は必要なのではと思います。</p>
<p>外国語のページは少ないのでそれこそ省いてタブレット閲覧にしたら良いと思う。</p>